

AI搭載IoT統合エッジウェア 最新版「Gravio」を7月25日から提供開始 ユーザー作成 AI 推論モデルをノーコードで実装する **ユーザーAI 機能** を追加

LANポート等を追加した新 Gravio Hub 2 が接続性・利便性を向上、稼働環境の多様化に対応！

アステリア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下アステリア）は、AI搭載IoT統合エッジウェアの最新版「Gravio」の提供を7月25日から開始することを発表します。最新版では、Gravio Hub のソフトウェアとハードウェア共に機能強化し、ユーザーが作成した独自の AI 推論モデルをエッジコンピューティング※にノーコード実装する機能や稼働環境の多様化に対応した新 Hub（Gravio Hub 2）などを追加しました。

■「Gravio」最新版提供開始の背景



AI搭載IoT統合エッジウェア「Gravio」は、センサーやカメラからのデータ収集やサービスへの接続をノーコードで実現するソフトウェアとして、様々なエッジ環境で利用されています。最近では、Gravio の CO₂ センサーや AI カメラ機能を活用した 3 密回避ソリューションなど、業種や業態を問わず幅広い企業の新常态への対応に貢献しています。

最新版「Gravio」は、利用用途の拡大と稼働環境の多様化に対応する機能を追加。ユーザーが作成した独自の AI 推論モデルをノーコードで実装するユーザーAI 機能や、ニーズの多い社外センサーへの接続対応を行いました。また、エッジでの AI、IoT 稼働を司る Gravio Hub には LAN ポートや、SD カードスロット・HDMI ポート等も追加することで、統合エッジソリューションとしての接続性や利便性を強化し、さらなる業務の自動化・遠隔化を推進します。



<「Gravio」最新版の概要>

新機能の名称	概要
センサー	各種社外センサーへの接続対応を強化。センサー死活監視機能の搭載で運用性と管理性を向上（機能搭載センサーに対応）。
ユーザーAI 機能	AI による画像推論機能を強化。プリインストールの画像推論モデルに加え、ユーザーが作成したオリジナル AI 推論モデル（画像分類、物体検出）もノーコードで実装し利用可能。
Gravio Hub 2	LAN ポート、SD カードスロット、HDMI ポートなどの追加により接続性、利便性と管理性を向上。

■今後の展開

Gravio は、センサーやカメラからのデータ収集やサービスへの接続をノーコードで実現するソフトウェアとして高く評価され、幅広い業種の企業・団体で採用されています。アステリアでは最新版 Gravio の提供を通じて、より一層の顧客開拓を進める計画です。Gravio は現在までに約 1,000 ユーザーを獲得していますが、2022 年度末にはその倍となるトータル 2,000 ユーザーへの導入に拡大することを目標に掲げています。

<Gravio 製品ラインアップ>

	Free	Basic	Standard	Enterprise	Enterprise AI Edition Gold	Enterprise AI Edition Platinum
価格 (税込)	¥0	¥500/月	¥22,000/月	¥880,000/年	¥1,320,000/年	¥1,760,000/年
無償貸出センサー数	-	4 アドバンスト: 0	20 アドバンスト: 5	50 アドバンスト: 20	80 アドバンスト: 40	100 アドバンスト: 100
Gravio Hub 注	-	-	1 台	4 台	4 台	4 台
Hubkit インストール数注	1	1	1	4	4	4
Hub 管理機能	-	-	-	○	○	○
Hub 最大管理数	-	-	-	4 台	8 台	16 台
対応カメラ	USB1 台	USB, ONVIF 1 台~	USB, ONVIF 1 台~	USB, ONVIF Hub 毎に 1 台~	ONVIF, RTSP 最大 8 台 (要専用 PC)	ONVIF, RTSP 最大 16 台 (要専用 PC)

注: Hubkit 増設オプションにより増設可能

標準搭載画像認識 AI (TensorFlow)	Free	Basic	Standard	Enterprise	Enterprise AI Edition Gold	Enterprise AI Edition Platinum
標準提供モデル	人数検出 (機能限定) 天候検出	人数検出 (機能限定) 天候検出	人数検出 天候検出	人数検出 天候検出	人数検出 天候検出	人数検出 天候検出
ユーザー AI	利用可能	利用可能	利用可能	利用可能	利用可能	利用可能
ユーザー AI の管理	-	-	-	○	○	○

特定用途向け画像認識 AI (Gorilla Technology)	Enterprise AI Edition Gold	Enterprise AI Edition Platinum
標準提供モデル	2つ選択可能 (1つは顔認証必須) ・顔認証 (人物の性別・年齢層・マスク着用有無) ・人の動き検出 (人数カウント・入退室 / 侵入検知・うろつき) ・車両の検出 (車種・通過台数・進行方向検知)	4つ選択可能 ・顔認証 (人物の性別・年齢層・マスク着用有無) ・人の動き検出 (人数カウント・入退室 / 侵入検知・うろつき) ・車両の検出 (車種・通過台数・進行方向検知)
登録可能顔 ID 数	100 ID (最大 1,000 ID)	1,000 ID (最大 100,000 ID)

※小さなエッジサーバーを複数配置し、データ処理の速度や能力を高める技術。

■『アステリア株式会社』について (Web サイト <https://www.asteria.com/>)

アステリア株式会社 (2018年10月にインフォテリアから社名変更) は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の ASTERIA Warp は、異なるコンピューターシステムのデータをノーコードで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 9,664 社 (2022年3月末現在) の企業に導入されています。また、Handbook は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,647 件 (2022年3月末現在) の企業や公共機関で採用されています。

■AI 搭載 IoT 統合エッジウェア「Gravio」について (Web サイト <https://www.gravio.com/jp>)

Gravio は、ノーコードで汎用的なカメラや各種センサーによるデータと様々なシステムの連携を容易に実現できる、AI/IoT 統合型エッジコンピューティングプラットフォームです。直感的な画面設計による簡単な操作で、エッジ上で様々なデータを収集、管理するとともに、データに基づいた様々なアクションを自動的に実行することが可能です。また、各種認証済センサーの無償貸出プログラムもご用意し、導入の際の複雑性も解消。サービス全体を通してシンプルかつ迅速な AI/IoT の利活用を実現します。新バージョンでは、AI による画像推論機能が更に強化され、プリインストールの推論モデルに加え、お客様により作成されたオリジナルの画像推論モデルもノーコードでシームレスに利用可能となりました。Gravio は、多様な用途における AI や IoT を利活用した DX を実現します。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先 (報道機関窓口)】

アステリア株式会社 広報・IR 部: 長沼史宏・齋藤ひとみ
TEL:03-5718-1297 / 携帯:080-7709-5212 (齋藤) / E-mail: press@asteria.com

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

アステリア株式会社 グローバル Gravio 事業部: 垂見智真
TEL:03-5718-1240 / E-mail: gravio-jp@asteria.com

アステリア、ASTERIA、Handbook、Gravio はアステリア株式会社の登録商標です。
その他記載されている会社名、製品名、サービス名、ロゴ等は各社の商標または登録商標です。